

3月議会トピック

- ◆ 定例会は3/22に閉会し、JR芦屋駅南再開発事業予算を盛り込んだ新年度予算をはじめ、すべての市長提出議案が可決しました。
- ◆ ロシアによるウクライナ侵攻への抗議を全会一致で決議しました。
- ◆ 市内小学校が自然学校に利用している「丹波少年自然の家」は、少子化の進展や施設の老朽化、効率的な運営等さまざまな課題が顕在化し、運営組合を解散することになりました。

令和4年度予算について

市民一人当たりの公共サービスに必要な金額： **449,817 円**

＜予算＞ 令和4年度の一般会計予算は、前年度に比べて1.3%増の429億2,600万円。特別会計予算は237億8,800万円（前年度比4.6%増）で、国民健康保険事業における療養給付費及び事業費納付金が減少。一方、JR芦屋駅南地区再開発事業に係る公共用地取得費・補償費等が増加となりました。

＜一般会計歳入＞ 歳入全体の53.4%と最も大きな割合を占める市税は、前年度比2.1%増の229億2,561万円。市債については、前年度比29.5%減の21億4,680万円に。＊市債：国や金融機関等からの借入金のこと。家計に置き換えるとローンの借入に相当。

＜一般会計歳出＞ 民生費は認定こども園誘致事業完了に伴う補助金等が減少。教育費は、美術博物館・谷崎潤一郎記念館改修工事に伴い、増加となります。

令和4年度の主な事業

まちづくり

民間技術力を導入し街路樹等の維持管理を業務委託化 4億262万円
 汐風橋ほか4橋の長寿命化を目的とした修繕工事 1億8,654万円
 脱炭素社会の実現に向けた調査等検討業務 650万円



教育・子ども

精道中の建替工事（体育館新設・グランド等整備） 13億365万円
 認可保育所で個別的配慮を要する子どものため保育士を配置 1億774万円
 大学等受験料支度金制度の創設（低所得者世帯対象） 500万円

福祉・健康

「8050問題」など、様々な地域課題への支援体制整備 1,005 万円
 子宮頸がんワクチン（HPV）接種事業 1 億 3,110 万円
 （対象：H9～H17 生まれ）

その他

図書貸出券とマイナンバーカードのワンカード化 168万6,000円

JR 芦屋駅南地区再開発について ～事業に関連する予算案が可決～

JR芦屋駅南地区再開発については、現在、事業を前提とした駅舎工事が進められています。このたびの予算には、関連経費として「一般会計」と「都市開発事業特別会計」に22億8,160万円が盛り込まれ、改めて提出されました。

これまで以下の理由により、将来への事業負担が大きく、持続可能で安定的な行政運営に立ち戻ることが急務だと考え、反対を続けてきました。

- ▶ 令和2年12月の時点で、事業費が当初の130億円から188億円まで増加していた。
- ▶ 令和2年に発表された「長期財政収支見込み」で基金残高が令和9年度には0になる見込みであった。
- ▶ コロナショックによる景気の落ち込みが不透明であり、厳しい財政状況下にあった。

しかし、引き続き会派で議論を続けた結果、苦渋の判断となりましたが、この議会において賛成する結論に至り

ました。その理由は、以下の通りです。

- ▶ コロナ禍でも市税や地方消費税交付金が増加する見込みであるなど、財政への影響が想定より少ない。
- ▶ 「長期財政収支見込み」による基金残高の劇的改善。
 (R2年度) 0 → (R3年度) 50億 → (R4年度) 94億
 (再開発事業の規模縮小と行財政改革を見込んだための改善と考えられる)
- ▶ 再開発計画の事業費削減に取り組む姿勢が示された。
- ▶ 行財政改革に係る「職員定員管理計画(的確な行政サービスを提供するための計画)」に取り組むとの答弁があった。

未だ、本事業に対する市の財政負担は大きいのですが、今後、業務の執行体制の最適化や財源の確保など、さらなる行財政改革に覚悟を持ち、取り組みを進めていくことを要望します。





芦屋保健所と南芦屋浜駐在所の存続について ～自民党芦屋市議会議員団で署名活動に取り組み、兵庫県に提出～

昨年、兵庫県から、芦屋健康福祉事務所ならびに芦屋警察署南芦屋浜駐在所が、今後それぞれ集約される方針であることが示されたことを受けて、会派として新年より署名活動に取り組み、1,879筆の署名を頂きました。両施設は芦屋市民の安心と安全を維持するための拠点として重要な役割を担っていることに鑑み、兵庫県に対して存続の必要性を強く求め

めるものです。

なお、その後、芦屋警察署から、「南芦屋浜駐在所については、3/1より高浜交番と統合する」との通達があり、今後、芦屋警察署「南芦屋浜詰所」として運用し、24時間体制の高浜交番勤務員による立ち寄りをはじめ、警戒活動の拠点として活用されます。これからは兵庫県の動向に注視してまいります。

新年度の
事業より

いつでも市へのお問い合わせが可能に！ ～AIチャットボットが導入されます（委託料 968 万円）～

AIチャットボットとは？ チャット(会話)をロボットが代行してくれるプログラムを指します。会話情報をデータベースに蓄積させておき、市民からの問い合わせに自動で返答します。

市のホームページにおいて、市民からのお問い合わせに対し自動応答できるサービス、AIチャットボットが導入されます。

市民サービスの向上を目指し、AI(人工知能)の技術を活用して、いつでもどこでも(24時間365日)市民の皆様からの問い合わせに対応することを目的としています。

私の考え

まちの魅力を高めるための投資

社会情勢が大きく変化する中、市民のニーズも多様化・複雑化しています。相談業務を充実させ、市民がいつでも簡単に行政サービスを利用できるようにするなど、まちの魅力を高めるための投資を着実に進めていくことは、とても重要です。しかしながら、職員の市民対応の機会が減少することにもなり、多様なニーズに対応するための発信力・受信力の低下が危惧されます。予算特別委員会総務分科会では、職員が市民と協働して事業を推進できるよう、市民に寄り添い、行動できる職員育成にも力をいれるよう要望しました。このサービスの導入が市民サービスの向上につながることを期待します。

美術博物館 谷崎潤一郎記念館の改修工事が行われます

それぞれ開館より30年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和4年7月頃から令和5年3月にかけて、美術博物館・谷崎潤一郎記念館を一時休館し、老朽化した美術博物館の屋根や、それぞれ空調や換気設備、トイレ等の改修工事が行われる予定です。

一時休館に併せて、美術博物館では歴史資料展示室の展示内容の充実を図られます。また、谷崎潤一郎記念館においては、谷崎文学により親しんでいただく仕掛けづくりなど、利用者の満足度向上のための取り組みが進められます。



芦屋市立美術博物館 (写真左)
谷崎潤一郎記念館 (写真右)

市議会議員報酬が5%削減されます

新型コロナウイルスの感染拡大が長引いていることにより市民生活が経済的に厳しくなっていること、感染症対策に本市の財政支出が増大していることに鑑み、「市議会議員の議員報酬を令和4年4月1日より令和5年4月30日まで5%削減する」との議案が、大原議員、川島議員、中村議員から提出され、可決しました。なお、委員会においては、採決の後、私が「検出された財源は、市独自のコロナ対策及びコロナ収束に向けた発展的事業に活用されることを求める」という附帯決議を提出し、全員異議なく、議案に対して附帯決議を附すことになりました。

*附帯決議：委員会で可決をする際、意見や希望などを表明する決議のこと。法的拘束力は有しない。

Photo Report



次世代型防災訓練に参加



ウクライナに一日も早い平和を！

メール fukui.minako@gmail.com ホームページ <http://www.fukui-minako.com> ブログ <http://www.fukui-minako.com/activityreport/>

編集後記

ロシアによるウクライナ侵攻や福島県沖地震、そして収束が不透明なコロナの感染状況。暗いニュースが続くなか、季節は巡り百花繚乱、春の到来です。なかでも美しく咲き誇る桜は、私達にエールを送ってくれているよう。さくらまつりは今年も中止となりましたが、来年は開催できることを願いつつ。

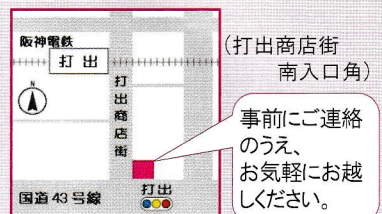
福井みな子

プロフィール

H23年 芦屋市議会議員初当選
H27年 2期目当選
H30年 第80代芦屋市議会副議長
H31年 3期目当選
R 1年 監査委員
R 2年 総務常任委員長
R 3年 総務常任委員長

自民党芦屋市議会議員団所属

市政報告 Vol.44 R4年4月発行
＜事務所＞芦屋市打出町1-13



（打出商店街
南入口角）
事前にご連絡
のうえ、
お気軽にお越
しください。

TEL & FAX : 34-0240